「福住祭」にぎわう

東雲高で　生徒と住民が交流

篠山東雲高校と地元の福住地区による文化祭「福住祭」が19日、同校で開かれた。コロナ禍の影響で4年ぶり。ステージでは生徒の研究発表、生徒や地域の人によるダンスや舞踊の発表、校内では模擬店や体験コーナーが開かれるなどし、多くの人でにぎわった。

ステージでは、歌謡教室を開く　さん（82）＝福住＝が「無法松の一生」「りんごの唄」などを熱唱。デカンショ節を歌う際には、同校生徒会長の　さん（2年、西紀中出身）、副会長の　さん（同、篠山中出身）が両脇から「よーい、よーい、デッカンショ」と合いの手を入れた。

さんは、「地域の人と一緒に楽しむ福住祭にしたかったので、良い機会だった」と話し、さんは、「高校生は気持ちよく引き受けてくれて、一緒に歌えてうれしかった」と笑顔だった。

生徒会役員と一緒にデカンショ節を歌う　さん＝丹波篠山市福住で

福住地区まちづくり協議会コミュニティー部会　委員長は、「4年ぶりに地域の高校と住民が交流する良い機会になった。さらに地域の人が関わる祭になっていけば」と話していた。

でつくる地域実行委員の

2023年11月26日
丹波新聞